

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成27年3月

計画の名称	1 総合的な治水対策の推進 (防災・安全)									
計画の期間	平成22年度～平成26年度 (5年間)		交付対象	富山県、富山市、高岡市、魚津市、黒部市、南砺市、小矢部市						
計画の目標	<ul style="list-style-type: none"> <li>過去に大きな浸水被害が発生した河川や集中豪雨により浸水被害が多発する市街地等の河川において、流域が一体となった総合的な治水対策を実施することにより、県民の安全で安心な暮らしを守る。</li> <li>海岸の侵食や越波などから背後地域の生命と財産を守り、国土保全に資する質の高い安全な海岸を創造する。また、自然景観等に配慮した安全で快適な海岸を整備する。</li> </ul>									
計画の成果目標 (定量的指標)	<ul style="list-style-type: none"> <li>年超過確率1/10の規模の洪水を安全に流下させるため、河川事業を行うことにより、河川整備率が54.7% (H22当初) から55.8%に向上。</li> <li>坪野川流域貯留浸透施設について、新たに2箇所を整備する。</li> <li>情報基盤整備について、県庁内の防災用情報処理装置を1箇所機能向上する。</li> <li>海岸整備率を、79.2% (H22当初) から82.3%に向上</li> </ul>									
定量的指標の定義及び算定式				定量的指標の現況値及び目標値			備考			
			当初現況値 (H22当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H26末)					
河川整備率 = (年超過確率1/10の規模の洪水を対象とした改修済み延長) ÷ (河川整備が必要とされる区間延長)			54.7%		55.8%					
流域貯留浸透施設整備率 = (完成した流域貯留浸透施設数) ÷ (現計画の流域貯留浸透施設数)			16.7%		66.7%					
情報基盤整備率 = (完成した情報処理装置機能向上数) ÷ (現計画の情報処理装置機能向上数)			0.0%		100.0%					
海岸整備率 = (整備済み延長) ÷ (海岸の保全が必要とされる区間延長)			79.2%	81.6%	82.3%					
全体事業費	合計 (A+B+C)	13,291百万円	A	13,071百万円	B	百万円	C	220百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	1.7%
事後評価 (中間評価)										
○事後評価 (中間評価) の実施体制、実施時期										
事後評価 (中間評価) の実施体制				事後評価 (中間評価) の実施時期						
富山県土木部河川課				平成27年3月						
				公表の方法						
				富山県ホームページ						
2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況										
I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況			<ul style="list-style-type: none"> <li>広域河川改修事業等を実施した結果、河川整備が必要とされる区間の改修が進み、河川整備率が向上した。</li> <li>侵食対策事業等を実施した結果、海岸整備が必要とされる区間の整備が進み、海岸整備率が向上した。</li> </ul>							
II 定量的指標の達成状況	指標① (河川整備率)	最終目標値	55.8%	目標値と実績値に差が出た要因	補正予算の活用により、河川の整備を進めたため。					
		最終実績値	55.9%							
	指標② (流域貯留浸透施設整備率)	最終目標値	66.7%							
		最終実績値	50.0%			近年に浸水した箇所など、流域貯留浸透施設以外の箇所での河川整備を行ったため。				
	指標③ (情報基盤整備率)	最終目標値	100%							
		最終実績値	100%							
	指標④ (海岸整備率)	最終目標値	82.3%							
		最終実績値	83.4%			補正予算の活用により、海岸の整備を進めたため。				
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)										
3. 特記事項 (今後の方針等)										

(参考図面)

